

「中学生の保護者の皆様へ」

74 期（現高 3 生）保護者

私は昨年度の PTA 会長を務めさせていただきました、現高 3 生の父です。そして私自身も茨木高校卒業生です。本日の説明会にご参加された保護者の皆様に、卒業生および保護者の立場から、茨木高校（茨高）の魅力をお伝えしたいと思います。

すでにご存じかと思いますが、茨高の制服は令和の時代になっても学ラン、セーラー服です。これらは、私が通っていた昭和の時代とほとんど変わっていません。茨高は大変歴史ある学校で、冬の寒い時期に行われる妙見夜行登山、大学受験準備で大変なはずなのに 9 月に行われる体育祭などの伝統行事はしっかりと受け継がれています。この茨高生活はわずか 3 年しかありませんが、自由な校風の下で自主的に活動することを自然に学び、多くの卒業生が社会に出て多分野で活躍されています。私が勤務している会社にも多くの茨高卒業生がおられますが、前社長も茨高の卒業生と知ったときは大変驚きました。

息子にはずいぶん前から茨高をめざすよう言い続けていました。中学校での部活動を最後まで続けながら学校で学んだことをしっかり理解し、最後まであきらめることなく、そして目標がぶれることもなく、なんとか茨高生になれました。茨高に行きたいというただそれだけの目標でしたが、その強い気持ちこそが受験で最後に笑顔になれる原動力の根源だということを改めて思い知らされました。息子は中学から引き続き吹奏楽部に入部し、多くの仲間に恵まれ、コロナ禍特有の苦難はありましたがしっかりやり遂げました。茨高生はその学校生活において自分のあるべき姿をしっかり持つことができるようになるので、成績は人それぞれではありますが、学業も部活も真面目に熱心に取り組めます。一方で、文理学科ゆえに学ぶ内容も高度なものとなり、中学時代では考えもしなかった挫折を経験することもあります。教職員の方々、友だちに支えられながら、その経験をプラスのエネルギーに変換し、お子さまをさらに成長させる学校、それが茨木高校だと思います。そして、何らかの形で再び戻ってきたくなる不思議な魅力をもった学校でもあり、親として、また教員として戻ってこられた卒業生もおられます。

まもなく受験本番の冬を迎え、保護者の皆さまも大変不安な時期かと思います。本日の学校説明会では茨高の魅力の一部しかご覧になれないかもしれませんが、茨木高校は、お子さまの高校生活だけでなく将来も充実させてくれる素晴らしい学校です。お子さまの志望校としてご一考いただき、本日お越しいただいた多くの方々が、桜の咲く季節にお子さまとともに笑顔で茨木高校の入学式を迎えられることを切に願います。

2021 年 11 月 20 日